

多文化共生で豊かな文化を創出しよう

徐真華

アジアは様々な文明の発祥地です。メソポタミア文明、中華文明、インダス文明、ヘブライ文明、ペルシャ文明、アラビア文明、モンゴル文明など、多くの文明を生み出しました。古代東アジアの儒教文化圏、南アジアのインド文化圏、中東のイスラム文化圏など、いずれも輝かしい歴史を持ち、世界中に多大な影響を与えてきました。こうした古代文明は、今日の人々に受け継がれ、アジア地域において多くの文化が共生しています。

欧米大陸の文化を広大な平野に例えるなら、アジアはその地理的環境に、険しい山々や峡谷も多く、一方でまた小さな港湾がどこにでも見られ、非常に独特で豊かな文化的様相を呈していると、余秋雨氏は述べています。このように、多様で異なる文化が一つに集中しているケースは、アジアにしか見られないものです。私は、互いに大きな違いがあるからこそ、長らくアジアの人々は「違いが衝突の理由ではない」という共通の認識を持っていましたのだと思います。世の中に、唯一の価値観、唯一の文化、唯一常識しか存在していなかつたら、この世界はどれほど貧弱、乾燥無味で、どれほど単調、退屈なものになっていたでしょう。

多文化共生について考える際に最も重要な点は、それぞれ異なる文化の人々が、対話をしこミュニケーションを行うことだと、人類の歴史は証明してきました。対話の目的は、他者を同化し、思想や行動を統一することではなく、それぞれの文化の特徴をなくして融合させることでもありません。むしろ、異なる文化や思想が合う中から新しい思想を生み出していくという、「生産的対話」「生産的発展」であると考えています。実際、こうした対立する違いがあるため、ある文化が他者の目には魅力的に見え、お互いに切磋琢磨することで、新たな理解や新たな発見につながり、そこから新しい文化を生み出していくことが可能となります。対話やコミュニケーションによって、異なる文化同士が、さらなる包容力や深みや活力を得て、最終的に全体に調和の取れた多文化共生へと発展するでしょう。

私たちの様々な努力の積み重ねにより、アジア文化が国際舞台で発信力を高めていくことは、我々の世代にとって避けられない重要な責務だと思っております。

(勤め先：浙江越秀外国语学院 学長)

多元共生，让文化更有厚度

徐真华

亚洲，多个人类文明的发祥地，美索不达米亚文明、中华文明、印度文明、希伯来文明、波斯文明、阿拉伯文明、蒙古文明等等在此和谐共生。古代东亚的儒教文化圈，南亚的印度文化圈，中东的伊斯兰文化圈，都曾有过辉煌的历史，都曾产生过世界性的影响。

这些灿烂的古代文明与文化为今天的人们所继承，由此形成了亚洲区域内极其多元、包容共生的文化特征。

如学者余秋雨先生所言：如果说欧美大陆的文化有点像一马平川，亚洲由于地理环境，有那么多深山峡谷，那么多小海湾，组成了一种非常具有奇特性、自足性的丰富文化生态。如此不一样的文化能够紧紧地集中在一起，这种情况只在亚洲有。我认为，也正是因为有这种巨大的差异、巨大的不同，长久以来给了亚洲人一种共识，就是“差异并不是冲突的理由”。试想，如果这个世界上只有同一个价值系统，同一种文化方式，同一种审美格局，这个世界将会变得何其贫瘠乏味，会变得何其单调无聊？！

历史一再证明，多元文化融合共生，最核心的问题是不同文化之间的对话与沟通。对话的目的不是同化别人、统一思想、统一行动，不是让某种文化主体特点消失的合金式的“融合”，而是在不同思想的碰撞中产生出新的思想，这就是“生成性对话”“生成性发展”。事实上，也正是因为有这样一种面对面的相异性，一种文化才有可能对他种文化产生吸引力，以致“如切如磋”“如琢如磨”，从而产生新的理解，擦出新的火花，派生出新的文化流派，在“对话与沟通”中，使得不同的文化更具包容性，也更有厚度、更富生机，最终达到一种整体和谐、共生发展。

我想说，通过我们的努力，让亚洲文化获得更高的世界话语权，这是我们这一代人义不容辞的责任。

（作者单位：浙江越秀外国语学院 校长）